

令和 7 年度

奈良市立看護専門学校

一般入学試験問題

現代の国語・言語文化

試験時間 50 分（問題 1～17）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机の上には、受験票、筆記用具以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、**下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入**し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢（1～5）から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏 名

--

第1問 次の文章を読んで、後の各問いに答えよ。

単に文芸批評だけではない。すべての評論風の批評は直接感受した印象の追跡を建前とする。ただその印象が芸術的な印象ではなくて、理論的印象や科学的印象である時、普通これを印象とは呼ばないまでで、この場合、印象の持っている印象らしい特色には別に変わりがない。印象はそれを感受する人間の感覚的性能いかんによって大変違って来る。印象とは刺激に対する人格的反作用のことであろうが、そうした特色には、科学的労作を批評する場合にも極めて大きな役割を演じている。科学におけるいわゆる素人や、ある意味における独学者が、往々暴露する欠陥は、正にこの科学的理論的印象能力の薄弱さに関わっている。本質的に高い仕事と本質的に低い仕事とを甄別^{けんべつ}（注1）するのは、この印象の確実さである。印象はその人の（ア）である。この印象の追跡が一般的に批評だ。㉠

芸術（作品、作家、芸術、現象、を含めて）に対する批評が、印象の追跡であることは、改めて言う必要はない。あるいは又、いく度言っても言い過ぎる心配のないことでもあると思われる。——でこの意味において、批評はすべて印象批評であると言ってよく、いわゆる「印象批評」なるもののヒドラ^{注2}のような不屈振りもまた、ここに由来する。この点与えられ想定されている条件である。問題はいつもその先から発生する。ここから先が、初めて批評の問題になるのである。㉡

まず印象の追跡ということである。だが（イ）印象自身と印象の追跡ということとは、ハッキリ別のことではない。作品を読むという活動の意味にも色々あろうが、優秀な読者は二度も三度も同じ作品を読むだろう。若い時読んだものを年取ってから読み直すということはごく普通の現象だ。一遍読んですぐ又読み直すという人もいる。そうしないまでも、前へ戻りながら念を押して読むということは、誰でも必ずやっていることだ。途中でやめたり、飛ばして読んだり、新聞小説など逆に読んで行ったり（私はかつて偶然そういう機会を持ったが作家のかくされた制作過程を知るには大変いい参考になるようである）、そういうことは、散文などでは必ずしも乱暴な読み方とは言えないらしい。もし、随意に繰り返すことが出来るということが散文の特色だとすれば、こういう読み方にも意味があるだろう。して見ると、印象と言っても決して一遍カッキリの印象ばかりを問題にするべきではない。㉢

もし一遍カッキリの印象を直接印象と呼ぶなら、ここで問題になる印象は、そもそも、必ずしも直接印象ではないと言わねばならぬ。直接印象でないと言わねば、言わば（ウ）（?）、と言って悪ければ、念を押され確かめられ点検された印象なのだ。すなわちこの印象は実はすでに追跡された印象だ。印象があって、これを追跡するだけではなく、いわゆる印象そのものが、すでに追跡された印象だ。心ある読者は、単に読むという活動自身において、印象追跡者である。批評家である。批評家とは、そういう最も普通な、しかし誰でも可能だという意味における誠実さを持った、読者の代表者である。読み手として優れているか特色があるか、それとも優れていなくても特色がなくとも、それに職業的か習性的かの経験や訓練を持とうと心掛けて生活しているもの、これがいわゆる批評家だ。（エ）批評家は読者代表である。㉣

こう考える限り、印象はすなわち印象追跡であり、すなわち又、印象追跡とは単に実際の印象それ自身のことでしかないようだ。もしこれで話しがすむなら、批評はすべて印象批評であるばかりでなく、批評はすべて、括弧づきのいわゆる「印象批評」であると言い切ってかまわないはずだろう。しかしそうなると私は、もう一遍印象と印象追跡ということを観察し直さねばならなくなる。印象の強みは、批評の母胎となり批評の端緒（ヘーゲルやマルクスが尊重したあの端緒の意味における）となるものが他ならぬ印象だというその強みは、すなわち又（オ）それ独特の弱みでもある。

印象は個人的なものでありパーソナルなものだ。それ故に、その限りの人間的眞実と誠実とを約束しているが、しかしそれだけの主観的制限を脱することは出来ない。^{もちろん}勿論どんなものでも、いやしくもそれぞれの人間が身をもって当たっている事柄と、主観的制限のついていないものはない。もしそんなものがあるなら、それは偽物であり嘘の世界のものだ。だが、そういう言葉が許されるのも、主観的制限を主観みずから何とかして出来る限り脱皮しようという努力と、無意識的にせよ組織的にせよ、試みた上でのことだ。主観的制限の裏に寝そべっていたり馳^かけ回ったりしていいということには、勿論ならぬ。㊦

印象が追跡された印象であると言った。点検され確かめられ念を押された印象だと言った。今このことは、印象が自分自身の主観的制約を脱皮しようとする努力を意味するのだということがわかる。主観的な偶然性を消去するために、印象を繰り返し、つつきまわし、比較し、実験し、等々して見るのである。これによって自分の自分らしい個性ある印象が、次第に明白になって来る。印象の明白感と自明感とによって心内的実験が確立される。これで少なくとも自分自身にとっては、**(カ) 出来るだけ客観的な印象**となるわけだ。自分にとってだけは、主観の偶然性をそれだけ脱皮した(偶然性を主観に由来するというラプラス以来の古典的偶然論の誤りを今仮に度外視するとして)客観性と必然性とを、この印象は持って来るのだ。

(戸坂潤「いわゆる批評の「科学性」についての考察」による)

(注) 1 甄別：はっきりと見分けること。2 ヒドラ：ギリシア神話の怪物。不死身の頭を持つ。

問題 1 次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中の㊦～㊩のうちから一つ選択せよ。

批評家が作家の教師になったり^{かばん}鞆持ちになったり侍医になったりすることは、それから後のことで、批評家はまず第一に読者の先輩であるというわけである。

1 ㊦ 2 ㊧ 3 ㊨ 4 ㊩ 5 ㊪

問題 2 空所（ア）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 芸術に対するセンスの証明
- 2 眼の高さのバロメーター
- 3 合理的な知能のテスト
- 4 ステレオタイプの押しつけ
- 5 社会に向けたオピニオン

問題3 下線部(イ)「印象自身と印象の追跡ということとは、ハッキリ別のことではない」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 小説を逆順に読むことで、制作のきっかけとなった作家の印象が成立する過程を追跡することができるから。
- 2 作品全体を一度しか読まないことは少なく、最終的に生まれる印象はすでに最初の印象に対する追跡となっているから。
- 3 作品を一遍だけ読んだときの直接的な印象をくり返し思い出して追跡することで、その印象が変容していくから。
- 4 多くの作品の印象が混ざり合ってしまった批評家は、元の印象を追跡して突き止める必要があるから。
- 5 散文の作品は多様な読み方が可能であり、追跡された印象と追跡されなかった印象の区別をつけることは難しいから。

問題4 空所(ウ)に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 第一印象
- 2 主観印象
- 3 短絡印象
- 4 錯覚印象
- 5 間接印象

問題5 下線部(エ)「批評家は読者代表である」とはどういうことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 専門的な批評家は多数の読者のなかから選ばれた存在であり、作品の正しい読み方を人々に指導できるということ。
- 2 誠実な読者は誰もが批評家を名乗ることができるが、ほかの読者がその地位を認めなければ彼らを代表することはできないということ。
- 3 批評は印象の追跡であり、それは読者の誰もが行い得るから、職業批評家は一般の読者と切り離された特別な存在ではないということ。
- 4 批評家になるには特別な経験や訓練を積む必要があり、印象追跡の能力があるだけでは不足だということ。
- 5 優れた印象追跡をする批評家は、一般の読者に代わって自分の印象を作者に伝えることができるということ。

問題6 下線部(オ)「それ独特の弱み」とはどのようなことであるか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 批評の端緒としての印象は、本来的には主観的なもので、確実性に限界があるということ。
- 2 印象はどこまでも個人的なものであり、客観的な真実に近づくことはできないということ。
- 3 人間のあらゆる観念は主観的なものであり、他者と分かち合うことは不可能だということ。
- 4 印象は単なる感想にすぎず、それを批評へと高めるためには知識が必要だということ。
- 5 主観的な印象は読者の心の正直な表現という点で誠実だが、そのぶん繊細だということ。

問題 7 下線部(力)「出来るだけ客観的な印象」はどのようにして生まれるのか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 自分の印象を点検した後、ほかの読者にも意見を求めることでより中立的な見方が得られるから。
- 2 新鮮な印象をできるだけ保つことで、自己の主観と無関係の偶然的な要素がいくてくるから。
- 3 自らの主観を批判的に考察していくと、偶然だと思われた印象が実は必然的に生まれたものだとわかるから。
- 4 最初の印象を自ら追跡し検討を重ねることで、その主観的な限界を乗り越えようと努めるから。
- 5 主観にとらわれた印象のなかに真実なものはないと見抜き、そこから抜け出すための方法を模索するから。

問題 8 本文の内容と合致する記述として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 印象は芸術作品に対してのみ生まれるものであり、科学的な対象には異なる反応が見られる。
- 2 素人や独学者が科学の批評において誤った判断を下してしまうのは、知識が不足しているからである。
- 3 人間が考えたり感じたりすることのうち、ごく一部は主観的な制約を免れた客観的真実だと言える。
- 4 自分の印象を厳しく追跡し、主観による偶然性を完全に消去すれば、誰からも認められる客観的批評を書くことができる。
- 5 散文の作品では、その一部だけを読んだり順を追って読まなかったりすることも場合によっては有意義である。

第 2 問 次の各問いに答えよ。

問題 9 下線部に示す漢字の読み方が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 ピーラーは重宝(ちょうほう)な調理器具だ。
2 コンサートの演出に趣向(しゅむき)を凝らす。
3 恩師にお歳暮(さいぼ)を贈る。
4 争いに至った経緯(きょうい)を説明する。
5 神社の境内(きょうない)で待ち合わせをする。
- (2) 1 正月は故郷に帰省(きしょう)する。
2 体裁(たいさい)を気にする。
3 感染症が猛威を奮(うば)う。
4 彼は古書の好事家(こうじや)だ。
5 彼は語彙(ごい)が豊富だ。
- (3) 1 友人の素行(すぎょう)の悪さが目立つ。
2 河岸(かぎし)を変えて仕切り直す。
3 演奏のコツを会得(えとく)する。
4 精進(せいしん)料理をいただく。
5 大衆の意向に迎合(げいあい)する。

問題 10 下線部の漢字が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 関西を処点（きょてん）に出店する。
- 2 人情の機微（きび）に触れる。
- 3 事態が思わぬ方向に転開（てんかい）する。
- 4 銀行の貯畜（ちょちく）セミナーに参加する。
- 5 即響（そっきょう）で歌をうたう。
- (2) 1 人口の遂移（すいい）を調べる。
- 2 監査で是正観告（かんこく）を受ける。
- 3 惨時（さんじ）の報道に胸が痛む。
- 4 テレビ画面を凝視（ぎょうし）する。
- 5 富士山は日本屈至（くっし）の観光地だ。
- (3) 1 論文が学術誌に掲載（けいさい）される。
- 2 瑞的（たんてき）に用件を話す。
- 3 姉に親友を招介（しょうかい）する。
- 4 環鏡（かんきょう）破壊の現状を把握する。
- 5 歌舞伎の初日講園（こうえん）を観に行く。
- (4) 1 父は淡泊（たんぱく）な味付けが好みだ。
- 2 回復傾向が顕著（けんちょ）に見られる。
- 3 恒及（こうきゅう）的な平和を祈る。
- 4 ウイルスへの低抗（ていこう）力をつける。
- 5 我疏（がりゅう）でギターを習得する。

問題 11 次の下線部と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 新入生の制服サイ寸を行う。
- 1 サイ判の行方を見守る。
- 2 友人の借金を相サイする。
- 3 彼はサイ能豊かな人だ。
- 4 サイ放送のドラマを観る。
- 5 新規事業のサイ択を報告する。
- (2) 新部署の創設に参カクする。
- 1 事件のカク心に迫る。
- 2 技術カク新で未来を切り開く。
- 3 漢字のカク数を調べる。
- 4 視聴カク室で授業を行う。
- 5 二人のカク執が伝えられる。

(3) 国際秩ジョの安定を図る。

- 1 歩行者に注意してジョ行運転する。
- 2 順ジョに従って話をする。
- 3 自治体に補ジョ金を申請する。
- 4 突ジョとして熊が現れる。
- 5 家の近ジョを散歩する。

問題 12 次のうち「世論」の同意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 1 相思 | 2 結実 | 3 振興 | 4 民意 | 5 考査 |
|------|------|------|------|------|

問題 13 次のうち「拾得」の反意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 1 迷走 | 2 衰弱 | 3 放出 | 4 逃避 | 5 遺失 |
|------|------|------|------|------|

問題 14 次の語句の意味として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) ナイーブ

- 1 ある物事を心の中に思い描くこと。
- 2 外国のような趣のあるさまのこと。
- 3 素朴で飾りけがないこと。また、純真で物事に感じやすいこと。
- 4 新しい波のこと。芸術・文学上の新しい傾向のこと。
- 5 情にほだされやすいさまのこと。からっとしないさまのこと。

(2) 猫の手も借りたい

- 1 非常に忙しくて、誰でもいいから手伝いがほしいこと。
- 2 たいへんおとなしいこと。
- 3 物事が変化しやすいこと。
- 4 だれかれの区別なくみんなということ。
- 5 本性を隠して、おとなしいように見せかけること。

(3) 喉元過ぎれば熱さを忘れる

- 1 おいしそうなものを見て、盛んに食欲が起こること。
- 2 何としても手に入れたいこと。
- 3 何かに深く感動し、涙があふれそうになること。
- 4 夢中になっていた気持ちが弱くなること。
- 5 苦しい事も、それが過ぎると簡単に忘れてしまうものだということ。

(4) 大器晩成

- 1 物事を休まずひといきに成し遂げること。
- 2 盛大な宴会を開いたり、気前よく物を振舞ったりすること。
- 3 物事や人物の実力や価値などを実質以上に大きく評価すること。
- 4 大人物は、ゆっくり大成するということ。
- 5 公平で私心がなく、隠し事をせず、堂々としていること。

(5) 荒唐無稽

- 1 悪人や犯人を一挙に捕らえること。
- 2 言うことに根拠がなく、現実性に乏しいこと。
- 3 妨げられることなく、自由に物事を行うこと。
- 4 証拠も根拠もなく、でたらめであること。
- 5 後先を考えずにがむしゃらに行動すること。

問題 15 次の意味を表す言葉として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) 人の心を和ませるような、ほのぼのとしたおかしみのこと。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 1 アイロニー | 2 プライド | 3 エスプリ |
| 4 アナロジー | 5 ユーモア | |

(2) 表現などが露骨過ぎて、情味もうるおいもないこと。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 身も蓋もない | 2 肩身が狭い | 3 柄にもない |
| 4 肝を冷やす | 5 反りが合わない | |

(3) 宣言したからには、必ず成し遂げること。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 質実剛健 | 2 有言実行 | 3 真相究明 |
| 4 九分九厘 | 5 時期尚早 | |

問題 16 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 海外にいち早く進出するなど、彼には先見の目がある。
- 2 つねに先手を出して物事に対処すべきだ。
- 3 合意に至る寸前の会議で、茶茶を入れる。
- 4 この宝石は、そこらそんじょで手に入る品物ではない。
- 5 政治家の言い訳に、有権者はそつぽを向ける。

問題 17 次の記述に当てはまる人物として正しいものを一つ選択せよ。

東京生。父は子爵。白樺派のリーダー的存在で、自分を生かすことを優先する自己肯定に立った作品が多い。同じ白樺派の志賀直哉は、その楽天的性格に勇気づけられることが多かった。『お目出たき人』『友情』がある。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1 三島由紀夫 | 2 幸田文 | 3 山本周五郎 |
| 4 井上靖 | 5 武者小路実篤 | |

以 上